

# シメガールを弾く。

## 第二章

アレコホール定期演奏会2020

高 実希子(ピアノ) 三上 亮(ヴァイオリン)

2020年11月21日(土)

青森県立美術館アレコホール

〔演奏曲〕

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ハフナー・セレナーデより ロンド

Wolfgang Amadeus Mozart : Rondo "Haffner Serenade"

ジュリオ・カッチーニ

アヴェ・マリア

Giulio Caccini : Ave Maria

ジョゼフ・アクロン

ヘブライの旋律 作品33

Joseph Achron : Hebrew Melody op.33

ジュール・マスネ

タイスの瞑想曲

Jules Massenet : Méditation de Thaïs

シャルル・トレネ＝アレクシス・ワイセンベルク

パリの四月

Charles Trenet＝Alexis Weissenberg : En Avril à Paris

カタルーニャ民謡

鳥の歌

Catalan : El Cant dels Ocells

パブロ・サラサーテ

ツィゴイネルワイゼン 作品20

Pablo Sarasate : Zigeunerweisen op.20

—— 休憩 ——

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

バガテル《エリーゼのために》

WoO.59 イ短調

Ludwig van Beethoven : "Für Elise" a-moll WoO.59

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

ヴァイオリンソナタ第9番

イ長調 作品47《クロイツェル》

Ludwig van Beethoven : Violin Sonata No.9 op.47 "Kreutzer"

第1楽章 Adagio sostenuto-Presto

第2楽章 Andante con variazioni

第3楽章 Presto

調律：小笠原貞夫

〔曲目解説〕

ハフナー・セレナーデより ロンド

シャガールが最も愛したといわれるオーストリアの作曲家モーツァルト（1756-1791）。シャガールがこんな言葉を残している。「…確かに人生は暗く悲しい。しかし芸術は愛によって悲哀を歓喜に変えるのだ。ジョットーの絵やモーツァルトの音楽のように」。ザルツブルクの富豪ハフナー家の結婚式の前夜祭のために作曲され、元々は管弦楽用だが、世界的ヴァイオリニスト、フリッツ・クライスラーがヴァイオリンとピアノのために編曲したことで有名である。

アヴェ・マリア

実はこのアヴェ・マリアはイタリアの作曲家カッチーニ（1545頃-1618）の作品ではなく、ソ連の作曲家ウラディーミル・ヴァヴィロフ（1925-1973）によって作曲された歌曲とされている。当初は「作曲者不詳」として発表されたが何故かカッチーニの名前が出てしまい、恐らくヴァヴィロフもそれを利用して否定せず、すっかり「カッチーニのアヴェ・マリア」として定着するようになった。彼は真相を明かすことなく1973年に亡くなってしまう。

ヘブライの旋律 作品33

シャガールは幼少期、地方のユダヤ教徒の学校に通い、ヘブライ語や聖書の勉強をしていたという。ユダヤ系ポーランド人のアクロン（1886-1943）は「ユダヤ民俗音楽協会」に加わり、ユダヤ系民族音楽の伝統に乗っ取る作曲家として活躍を始める。その端緒となったのが、代表作の《ヘブライの旋律》である。

タイスの瞑想曲

フランス人作曲家マスネ（1842-1912）の歌劇『タイス』の間奏曲である《タイスの瞑想曲》。娼婦「タイス」と修道士「アタナエル」が繰り広げる破天荒な恋物語である。タイスが娼婦をやめて信仰の道に入ることに悩み、受け入れるまでの心の動きが描写されている。1894年、パリ・オペラ座で初演された。後にオペラ座の天井画を描いたのがシャガールである。

パリの四月

フランスの大歌手シャルル・トレネ（1913-2001）による6つのシャンソンをユダヤ人ピアニスト、アレクシス・ワイセンベルクが編曲した。パリは、シャガールにとって、近代文化のつづである現実の都、そして想像を絶する神話めいた狂騒が繰り広げられる、夢の都だったのであろう。

鳥の歌

スペイン、カタルーニャの民謡。クリスマス・キャロルであり、キリスト聖誕を鳥が祝っている様子を歌っている。カタルーニャ出身のチェロ奏者カザルスは平和を願い、故郷の民謡「鳥の歌」を世界に向かって演奏し続けた。またピカソは大作ゲルニカを描いてフランコ政権に抵抗し、そしてまたシャガールも雌鶏を描き、愛を歌いあげている。

ツィゴイネルワイゼン 作品20

スペインのヴァイオリニスト、サラサーテ（1844-1908）。劇的でありながら哀感を持ち合わせる技巧的なヴァイオリン曲として知られ、題名は「ジプシー（ロマ）の旋律」という意味である。オリジナルはヴァイオリンと管弦楽であるが、ヴァイオリンとピアノで演奏する機会も多い。バレエ「アレコ」はロシアの文豪、アレクサンドル・プーシキンの詩「ジプシー」を原作とする物語。アレコ第1幕《月光のアレコとゼンフィラ》夜空にはこうこうと満月が輝き、湖はその光を映している。大地には、流浪の民であるジプシーのテントが見える。

バガテル《エリーゼのために》WoO.59 イ短調

ドイツの作曲家ベートーヴェン（1770-1827）によるこの曲は、本来「テレーゼ（Therese）のために」という曲名だったが、悪筆で解読不可能など何らかの原因で「エリーゼ（Elise）」となったという。テレーゼはかつてベートーヴェンが愛した女性であった。ミレミレ♪右手はエリーゼ、左手はベートーヴェン… 2人の会話が聴こえるようだ。

ヴァイオリンソナタ第9番 イ長調 作品47

シャガールによって14名の偉大な作曲家の作品をモチーフとして描かれた、パリ・オペラ座の天井画の中央に、ベートーヴェン《フィデリオ》が堂々と、鮮やかに存在している。この曲は、ヴァイオリニストのロドルフ・クロイツェルに捧げられたために『クロイツェル』の愛称で親しまれているが、ベートーヴェン自身のつけた題は『ほとんど協奏曲のように、相競って演奏されるヴァイオリン助奏つきのピアノソナタ』である。ベートーヴェンの作曲したヴァイオリンソナタの中でも、特に規模が大きく王者の風格を備えている。ピアノが主である古典派ヴァイオリンソナタが多い中で、この曲はヴァイオリンとピアノが対等であり、技術的にも高度なテクニックが要求される。2020年、記念すべきベートーヴェン生誕250年に、ヴァイオリンとピアノの最高傑作で、「シャガールを、弾く。」第二章は幕を閉じる。

—— 高 実希子 ——



高 実希子  
Koh Mikiko

函館市出身。桐朋女子高等学校音楽科、桐朋学園大学音楽学部演奏学科ピアノ専攻首席卒業。(公財) ロームミュージックファンデーション奨学生として、2008年パリ国立高等音楽院卒業。21世紀ピアノコンクール 第1位(2002年・日本) ショパン国際ピアノコンクール in ASIA大学生部門最高位(2003年・日本)。イル・ド・フランス国際ピアノコンクールドピュッシー特別賞(2008年・フランス) 他、国内外で多数の受賞歴を持つ。2007年カワイ表参道にて東京デビューリサイタル開催。これまで2枚のピアノソロアルバムをリリースし、現在ソロ・室内楽において国内外で演奏活動を行い、パリ国立高等音楽院卒業生によるJACOBピアノ四重奏団のピアニストとして活動している。2010、2011年フランス・エクサンプロヴァンス国際音楽祭出演。2015年青森県立美術館にてソロリサイタル「COLORS vol.1」「COLORS vol.2」に出演。2016年青森県立美術館開館10周年記念5台ピアノコンサート「北十字星からの贈りもの」に出演。同年、モーツァルトが演奏したイタリア・ヴェローナマフェイアーナホールでアジア人初のソロリサイタルとして成功を収める。2017年東京デビュー 10周年リサイタルを東京・カワイ表参道と、函館市芸術ホールにて開催。2018年Hakodate Music Academy設立。2019年アレコホール定期演奏会、2020年アレコホール特別演奏会5台ピアノコンサート「10hands」に出演。函館短期大学非常勤講師。(公社) 日本演奏連盟、函館音楽協会、北海道桐朋会、日本ショパン協会北海道支部函館地区各会員。2020年10月、函館市文化団体協議会青麒麟章を受章。



三上 亮  
Mikami Ryo

東京藝術大学音楽学部首席卒業後、アメリカ南メソヂスト大学メドウズ音楽院、ローザンヌ高等音楽院、メニューイン国際音楽アカデミーで研鑽を積む。景山誠治、エドゥアルド・シュミダー、ピエール・アモイヤル、アルベルト・リジー諸氏に師事。その間、安宅賞、日本音楽コンクール第2位、ブリテン国際ヴァイオリンコンクール特別賞、フォーヴァルスカラシップ・ストラディヴァリウスコンクール第2位など受賞。カメラータ・リジーや、カメラータ・ローザンヌのメンバーとしてスイス国内を拠点にヨーロッパ各地で演奏した。2007年ルーマニアエネスコ音楽祭にも出演しテレビ放映される。ローザンヌ室内管弦楽団、東京交響楽団などと共演。2007年に帰国後、札幌交響楽団コンサートマスター、東京藝術大学非常勤講師、日本音楽コンクール審査員など歴任。2013年秋、巨匠ピアニスト、イェルク・デームス氏とデュオリサイタルを開催し、好評を博した。また2017年春は全国5都市でリサイタルツアーを行った。ローザンヌ室内管弦楽団、東京交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、札幌交響楽団などとコンチェルトを共演。室内楽では、2008年に結成されたヴィルトゥス・クワルテットの第1ヴァイオリン奏者を務めている。第2回ウィーン・フィル&サントリー音楽復興祈念賞受賞。ベートーヴェンの作品を主に取り上げ、東京近郊での定期的な演奏会や札幌、仙台、また各地でのラ・フォル・ジュルネに参加するなど意欲的に活動している。2017年、2019年、青森県立美術館にて開催されたアレコホール定期演奏会に出演。これまでに「ツィガース」「奏」など5枚のCDをリリース。使用楽器は1628年製ニコロ・アマティ。

## マルク・シャガール (1887~1985)

ベラルーシ、ヴィテブスクのユダヤ人の家庭に生まれる。サンクトペテルブルクの美術学校で学んだ後、1910年、パリに移り住み、前衛芸術の動向に触れる。この初期のパリ時代、「七本指の自画像」や「誕生日」などの代表作が生み出された。第一次世界大戦前後の一時期をロシアで過ごす、

## 第二章

1923年からはパリで活動を再開。

1941年にはナチス・ドイツの迫害を逃れるためアメリカに渡り、約7年間を過ごした。バレエ「アレコ」の背景画は、ニューヨークのバレエ団、バレエ・シアターから依頼を受け、1942年に制作したものである。フランスに戻ってから1985年に亡くなるまでの晩年の活動では、モザイクやステンドグラスなどモニュメンタルな作品を数多く手がけた。

シャガールを弾く。

## アレコホールでの写真撮影について

アレコホール内の「アレコ」背景画の写真撮影が可能になりました。

これは、作品により親しんでほしいというマルク・シャガールご遺族（著作権管理者）の思いに基づき、特別に許可されています。著作権保護ならびに作品保全のため、下記のマナーを守って、お楽しみください。

- 演奏会公演中の撮影は禁止とさせていただきます。開演までの時間や休憩時間での撮影をお楽しみください。  
フラッシュ・三脚等の使用はできませんのでご注意ください。
- 私的利用目的でのみ撮影可能です（撮影画像利用に関して、美術館は一切の責任を負いません）。  
画像を加工することはできません。
- 他のお客様やスタッフ並びに演奏者を撮影することは、肖像権の侵害にあたる場合があります。
- 撮影の際は、作品や舞台上の楽器・譜面台等には触れないようお願いいたします。

## 新型コロナウイルス感染症予防に関するご理解とご協力をお願いします

- 37.5℃以上の発熱のある場合、咳、咽頭痛、全身倦怠感、鼻閉、味覚障害などの体調不良の症状がある場合、  
入場はご遠慮いただきます。
- マスク着用のほか、咳エチケットや手指の消毒、社会的距離の確保をお願いします。
- 客席等での大声による会話、出演者への面会・プレゼントはご遠慮ください。
- 休憩時の飲料販売は休止いたします。コミュニティホールの飲料自動販売機をご利用ください。
- 感染者又は感染が疑われる方が発生した場合は、保健所等公的機関へ氏名・連絡先が提供される可能性があります。